



# US Topics

February 26, 2009

PRICEWATERHOUSECOOPERS 

## ■ 目次

まもなく公表されるリース会計に関するFASB/IASBの討議資料のプレビューを提供するPwC DataLine  
FASBのバリュエーション・リソース・グループの会議ハイライト  
FASBがFAS 141(R)に基づいて取得した偶発事象の会計処理に対応  
その他のFASB関連記事  
SECが2009年米国再生・再投資法案に関する解釈指針を公表  
CAQが2008年の進捗概要を報告  
AICPAが独立性に関する分かり易いガイドを公表  
3月の予定

---

## ■ まもなく公表されるリース会計に関するFASB/IASBの討議資料のプレビューを提供するPwC DataLine

基本的なリース会計モデルは30年以上変更されていませんが、長い間かなりの批判の対象となってきました。リース分類を決定する数多くの「明確な("bright-line")」基準値や、オペレーティング・リースに認めているオフ・バランス・シート処理がその主たる批判の対象となっています。

米国財務会計基準審議会(FASB)と国際会計基準審議会(IASB)は、借手のリース会計をどのようにどのように変更すべきかについての当初案について討議資料を数週間以内に公表する予定です。両審議会の提案により、オペレーティング・リースの会計処理は廃止され、借手はほとんどのリース取引を、今日のキャピタル・リースの会計処理と同じ方法で処理することが求められます。この変更によって、ほとんどすべての企業が何らかの影響をうけることになります。

DataLine 2009-10において、プライスウォーターハウスクーパース(PwC)は、まもなく公表される両審議会の提案の重要な側面のいくつかについてのプレビューを提供し、企業の財務報告に与える潜在的な影響を検討しています。また、リース会計に関する議論の展開に合わせて企業が考えるべき事項(この変更案が事業活動、財務報告、主要な財務指標数値に与える可能性のある影響等)を提案しています。

▼ CFOdirect NetworkのメンバーはこのDataLineの全文を以下のウェブサイトから記事の全文をご覧いただけます。  
<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jp?ContentCode=AALN-7PMMU9&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>

---

## ■ FASBのバリュエーション・リソース・グループの会議ハイライト

財務報告目的における公正価値の利用は、特に現在の経済環境においては、引き続きトピックスとなっています。基準設定の観点から、FASBは、FASB基準書第157号「公正価値の測定」(FAS 157)で現在提供されているガイダンス以上に具体的な追加的評価ガイダンスが必要かどうか、およびどの程度必要とされるかについての評価を続けています。この試みの一環として、FASBおよびFASB職員に対する非公式な諮問グループであるFASBのバリュエーション・リソース・グループ(VRG)は適用上の問題点を議論するために定期的に会議を開催しFASBへのアドバイスをを行っています。

2月5日の会議において、VRGの議論は以下の項目に集中しました。すなわち、(1)米国証券取引委員会(SEC)による

時価会計研究、(2)負債の公正価値の測定、(3)代替的投資の評価に関するアメリカ公認会計士協会(AICPA)のドラフト・ペーパー、(4)のれんの減損です。VRGの役割は、本来は助言を行うことにあり、その立場も公式なわけではありませんが、企業はFAS 157関連の評価上の問題に対応する際にVRGの議論や見解について検討したいと考える可能性があります。

▼ CFOdirect NetworkのメンバーはこのDataLineの全文を以下のウェブサイトから記事の全文をご覧いただけます。  
<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=AALN-7PFJXM&SecNavCode=TMCB-4L9HAT&ContentType=Content>

## ■ FASBがFAS 141(R)に基づいて取得した偶発事象の会計処理に対応

今週、FASBは、企業が企業結合において取得した偶発資産および偶発負債(取得した偶発事象)の会計処理を、引き続きFASB基準書第141号「企業結合」の既存要件に基づいて行うことを認める決定を下しました。このFASBの決定がなければ、企業結合に関する新基準、FAS 141(R)(既にほとんどの企業に適用となっています)にしたがって、企業は取得した偶発事象を取得日現在の公正価値で認識することを義務付けられることになるところでした。このFAS141(R)に代わり、FASBは、その価値を配分する期間に渡って「合理的に見積る」ことが可能な場合には取得した偶発事象を公正価値で認識することを義務付けました。そうでない場合には、企業は、通常は、取得した偶発事象をFASB基準書第5号「偶発事象の会計処理」(FAS 5)に準拠して会計処理することになります。

FASBは、関係者から提起されたFAS 141(R)の適用上の問題点に暫定的に対処するためにこの決定を行いました。FASBでは、全ての偶発事象の会計処理に関する別のプロジェクトの一環として提起された問題点に対処するかどうかを決定する予定です。

▼ FASBの決定に関する詳細については、PwCのBreaking Newsの記事をご覧ください。CFOdirect Networkのメンバーは以下のウェブサイトから記事の全文をご覧いただけます。  
<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/Controller.jpf?ContentCode=AALN-7PLQCR&SecNavCode=ASPP-5SLM5R&ContentType=Content>

## ■ その他のFASB関連記事

**会議の概要:** FASBは今週2回の会議を開催しました。

- **2月25日:** FASBは、(1)保険契約、(2)負債の測定、(3) FASB会計基準の成文化およびGAAPヒエラルキーに関するFAS 162の修正、(4)企業結合において取得した偶発資産または引き受けた偶発債務から発生する偶発事象の会計処理、について議論を行いました。  
<http://www.fasb.org/action/sbd022509.shtml>
- **2月26日:** FASBは非営利組織の合併と買収について議論しました。  
<http://www.fasb.org/action/sbd022609.shtml>

**次回の公開会議:** FASBは3月4日に会議開催を予定しています。この会議および来週開催予定のその他の会議の詳細は以下のFASBウェブサイトをご覧ください。  
<http://www.fasb.org/calendar/index.shtml>

**プロジェクトの更新:** FASBは以下のプロジェクトの概要を更新しました。

- 特定の偶発損失の開示  
[http://www.fasb.org/project/accounting\\_for\\_contingencies.shtml](http://www.fasb.org/project/accounting_for_contingencies.shtml)
- 排出権取引スキーム  
[http://www.fasb.org/project/emissions\\_trading\\_schemes.shtml](http://www.fasb.org/project/emissions_trading_schemes.shtml)

- SECの石油およびガスの開示  
[http://www.fasb.org/project/oil\\_and\\_gas\\_disclosures.shtml](http://www.fasb.org/project/oil_and_gas_disclosures.shtml)

---

## ■ SECが2009年米国再生・再投資法案に関する解釈指針を公表

SECの企業投資部門は、TARPプログラムに基づく役員報酬プログラムに関するQ&Aを提供する、コンプライアンスおよび開示解釈文書(C&DI)を公表しました。

- ▼ このC&DIの全文は以下のSECウェブサイトからご覧いただけます。  
<http://www.sec.gov/divisions/corpfin/guidance/arrainterp.htm>

---

## ■ CAQが2008年の進捗概要を報告

AICPAの監査品質センター(CAQ)が昨年の進捗を概説した報告書を公表しました。この報告書には、CAQのミッションおよび体制、そして、規制当局との関係構築、会員向けアラートの公表、公開討論ツアーの一環としての全米でのフォーラムの開催等、昨年に実施した重要な活動をまとめています。

- ▼ この報告書の全文は以下のCAQウェブサイトからご覧いただけます。  
[http://www.thecaq.org/about/CAQ\\_Year\\_In\\_Review\\_2008.pdf](http://www.thecaq.org/about/CAQ_Year_In_Review_2008.pdf)

---

## ■ AICPAが独立性に関する分かり易いガイドを公表

AICPAは『独立性に関する分かり易いガイド(Plain English Guide to Independence)』の2009年1月版を公表しました。この出版物はAICPA会員によるAICPA、SEC、公開企業会計監視委員会の独立性規則に基づく独立性要件の理解を助けることを目的としています。

- ▼ このガイドは以下のAICPAウェブサイトからご覧いただけます。  
<http://www.aicpa.org/download/ethics/plainenglish.doc>

---

## ■ 3月の予定

- FASBは3月4日、17日、18日に会議を開催、3月4日、11日、18日、26日に教育セッションを開催。
- FASBは3月5日に金融危機諮問グループと会談。
- FASBは3月6日に特定の偶発損失の開示に関する円卓会議を開催。
- 発生問題専門委員会(EITF)は3月19日に会議を開催。
- FASBとIASBは3月23日および24日に共同会議を開催。
- 財務会計基準評議会(FASAC)は3月31日に会議を開催。
- IASBは3月16日から20日および3月23日から25日に会議を開催。
- 国際財務報告解釈指針委員会(IFRIC)は3月5日に会議を開催。

- 会計基準執行委員会は3月24日から25日に会議を開催。
- 政府会計基準審議会(GASB)は3月10日から12日に会議を開催。また、3月31日に電話会議を開催。
- 政府会計基準諮問委員会(GASAC)は3月12日から13日に会議を開催。
- 国際監査・保証基準審議会(IAASB)は3月16日から19日に会議を開催。

▼上記の会議およびその他組織の行事の詳細については、以下のウェブサイトからCFOdirect Network の行事カレンダーをご覧ください。

<http://cfodirect.pwc.com/CFODirectWeb/cfobusiness/cfoevents/nextMonth.do?currentYear=2009&currentMonth=February>

お問い合わせ: あらた監査法人(ブランド&コミュニケーションズ)

東京都千代田区丸の内1丁目5番1号  
新丸の内ビルディング32階(〒100-6532)  
電話: 03-6858-0179(直通)  
メールアドレス: aaratapr@jp.pwc.com

あらた監査法人は、世界 153 カ国に 155,000 人のスタッフを擁するプライスウォーターハウスコーパーズ(PwC)のメンバーファームです。PwC のメンバーファームとして、会計および監査において PwC の手法に完全に準拠した国際的なベストプラクティスを採用し、PwC のグローバルネットワークで培われた経験、専門知識、リソースを最大限に活用し、日本において国内企業および国際企業に対して、国際水準の高品質な監査を提供していきます。

© 2009 PricewaterhouseCoopers Aarata. All rights reserved. "PricewaterhouseCoopers" refers to PricewaterhouseCoopers Aarata or, as the context requires, the PricewaterhouseCoopers global network or other member firms of the network, each of which is a separate and independent legal entity.